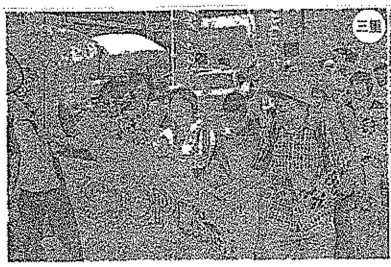
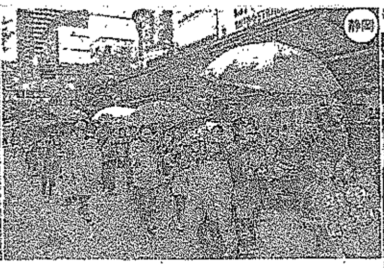
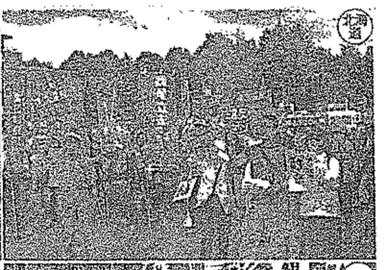
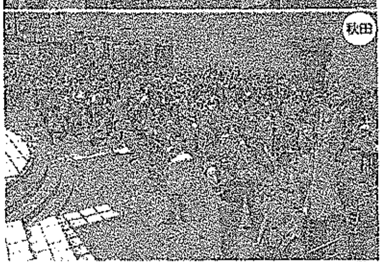
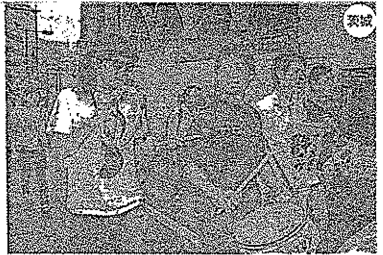


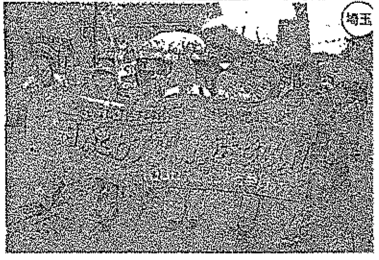




青森
組合
戦争法案廃案！安倍政権退陣！







# 共同の輪 空前

## 子ら戦場に行かせぬ

**北海道** 北海道旭川市では、あさひかわ九条の会、旭川平和フォーラムなどが呼びかけた「戦争法案廃案！旭川大集会」が開かれ、市内や上川管内の市町村から1200人が参加しました。市役所前広場に集まった人たちは「憲法違反許さない」「戦争させない」のプラカードをかかげ、アピールしました。

あさひかわ九条の会代表委員の八鍬和裕弁護士は「平和を壊そうとする動きは許しません。憲法違反の法案を廃案に追い込むため力をあわせよう」と呼びかけました。

集会後、参加者は、市内中心部に向け、サウンドカーを先頭にパレードしました。

小学2年の息子と参加した高畑日記（にっき）さん(37)は「子どもたちを戦場に行かせるわけにいきません。戦争法案は絶対反対。廃案しかありません」と話しました。

## 観光客も飛び入りで

**青森** 青森市では青森集会とパレードが行われました。

県九条の会、憲法ネットあおもり、青森ペンクラブ、県労連、日本共産党、社民党など13団体の共催です。青森駅前公園で開かれた集会では、民主党の青森県議が連帯のあいさつをしました。

市外から参加したグループや職場仲間の呼びかけで初めて参加した青年たち、つえを突き「戦争させない」と声をあげる高齢の女性、飛び入り参加した観光客など、約600人が参加。戦争法案廃案、安倍内閣退陣の日まで、ともにたたかうことを誓いあいました。

参加した石田はるかさん(33)は「絶対、くい止めなきゃいけない。廃案までもっと声をあげる仲間を増やし続けたい」と話しました。

## 安倍さん さようなら

**秋田** 秋田県では秋田市のJR秋田駅前アゴラ広場で、全国100万人大行動秋田県集会（主催＝総がかり行動秋田県実行委員会）を開き、1000人余が参加しました。

虻川高範代表は「戦争のない未来をつくるのは国会の多数ではなく、私たち自身なんだと確信を持てるきっかけをつくってくれた安倍首相に感謝しよう。安倍さんありがとう、そしてさようなら。戦争法は必ず止めることができる。最後までがんばろう」と訴えました。

リレートークで、県[illegible]会九条の会は、前日の小林節慶応大教授の講演会に予定を大幅に超える人たちが参加したことを報告。女性、青年の代表は戦争法案廃案への思いを語り、秋田弁護士会・憲法改正問題検討委員会委員長の[illegible]英明弁護士が連帯のあいさつをしました。

最後に集会アピールを採択し、中心街をデモ行進しました。

## ノボリ林立 会場満杯

**山形** 山形県弁護士会主催による緊急市民集会が山形市内で開かれ、小雨の中1000人が参加しました。「戦争する国づくり反対」のノボリ旗が林立、「安保法制反対」のプラスターを持った参加者で、会場が埋め尽くしました。

県弁護士会の安孫子英彦会長があいさつに立ち、「憲法違反の法律を通すことは憲法を無視した政治がおこなわれることになる。立憲主義がおかされることになる」と述べました。

リレートークでは、大学准教授、元裁判官、女子大生、子どもを連れた女性らが戦争法案反対を訴えました。長井市のフォークグループ彩法師が「美しい国の果て」を歌い、廃案を呼びかけました。

集会後市内をパレード、「安保法案に反対の人は一緒に声をあげましょう」と市民に呼びかけました。

## 9条こそ日本の誇り

**茨城** 「戦争法制」に反対する茨城県実行委員会は、水戸市内で集会を開き、およそ1000人の参加者がデモ行進しました。

集会では同実行委員会を構成する平和団体の代表らが「安倍（首相）は国民を戦場に連れて行くつもりだ」「平和憲法こそ日本の誇り」「国民の声を聞かない安倍政権を退陣させよう」などと訴えました。

共産、民主、社民、新社会の4党代表がそれぞれともにたたかう決意を表明。共産党の大内久美子県副委員長は「憲法9条を外交に生かすことこそが平和主義。安倍内閣を退陣させ、平和な日本をつくりましょう」と呼びかけました。

デモ行進に参加していた男性会社員(25)は「日本はどこの国とも戦争してはいけない。この法案は廃案以外にない」と話していました。

## 自衛官の親類が心配

**埼玉** さいたま市緑区では、革新懇や「9条の会」を中心にした実行委員会による「オール緑区集会&パレード」が行われました。650人を超える市民が参加し、「力を合わせて戦争を止めよう」と訴えました。集会では、「9条の会」のメンバーや保育士らが発言し、元済生会栗橋病院院長補佐の本田宏医師がゲストスピーチしました。

日本共産党の塩川鉄也衆院議員があいさつし「戦争法案は憲法違反。審議しても安倍内閣の答弁はぼろぼろ。たたかいを広げて暴走政治をストップしよう」と訴えました。

子どもと参加した柳沢陽香さん(41)＝さいたま市＝は「いとこの子が自衛隊にいて、法案が通ったら戦場に行かされるかもしれません。子どもを戦争に送る法案を通すわけにはいきません」と語りました。

## 市民の注目ヒシヒシ

**静岡** 静岡県内では各地で集会、パレード、スタンディングアピールが行われました。

静岡市葵区では、戦争させない・9条壊すな！第2次静岡総がかり行動（実行委員会主催）が開催されました。小雨の降るなか参加した1100人が、駿府城公園で「戦争させない」「9条壊すな」とプラカードを掲げたのち、繁華街をパレードしました。

市民の注目を集め、携帯電話でのカメラ撮影や声援を寄せる反応もありました。

集会リレートークのなかで、県司法書士会の杉山陽一会長が「立憲主義を無視する安倍政権をしばるために、みんなの力で立憲主義がきちんと行われる国にしていきたい」と述べました。県弁護士会歴代会長有志による安全保障関連法案の廃案を求める声明が発表されました。

## 障害者・母子・牧師ら

**愛知** 名古屋市緑区では、市民、宗教者、医師、議員、女性団体など立場を超えた人450人が、法案反対の一点での集会に「安倍内閣ダメ」と思いをぶつけました。

会場には、車いすの障害者、子連れの母親、労働者などが自分の思いを書いたプラカードを掲げて参加。

キリスト教の牧師や福島原発事故避難の女性らがリレートークし「私たちの声を聞いてください」などと訴えました。

同区の伊藤蕗（ふき）さん(28)は「えっ、きょうは100万人行動だったんですか。憲法で禁止されている集団的自衛権の行使がどうしても許せなくて参加しました。学者さんや若い人だけでなく、もっと多くの国民が声をあげて廃案に追い込みたいですね」と話します。

日本共産党の本村伸子衆院議員、さはしあこ名古屋市議があいさつしました。

## 家族そろい思いの丈

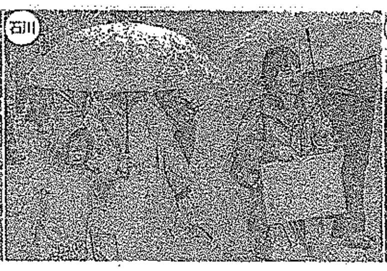
**三重** 三重県鈴鹿市の弁天山公園には、党派を超えた市民約300人が集まり「えらいこっちゃ、えらいこっちゃ、憲法えらいこっちゃ！」などとコールを繰り返しながら市内をパレードしました。

集会では、三重短期大学の三宅裕一郎教授（憲法学）が「憲法違反で突っ込みどころ満載」の戦争法案の問題点を改めて指摘。「秘密保護法に反対する鈴鹿市民の会」の山本あけみ代表が「国民をばかにした安倍政権はとんでもない。『戦争法案は廃案に』の声を鈴鹿からも上げていこう」と呼びかけました。

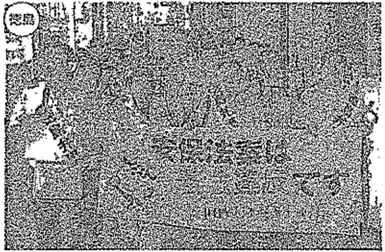
7歳、5歳、1歳の子どもといっしょに夫婦で参加した前田紫朗さん(47)は「子どもを戦争に送りたくない。そんな未来を残したくないとの思いで、家族そろって参加しました。戦争法案は何としても廃案にしたい」と思いの丈を話していました。

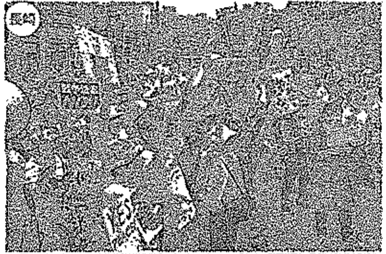
8/31
赤旗

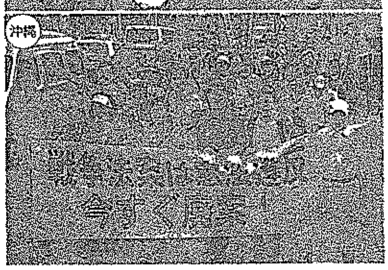
大阪
だれの子もこ
ろさせない



広島
だれの子どもも
ころさせない。







# 列島 総がかり

## ファッショ許せない

**新潟** 総がかり行動新潟実行委員会は新潟市で集会とパレードを行い、雨の中2000人が参加しました。

憲法センターの五十嵐暁・新潟県民連会長は「安倍内閣の立憲主義・民主主義破壊のファッショを許すことはできない。今日の力を国会を包囲する力にもしよう」と力説。平和運動センターの斎藤悦男議長は「安倍政権を退陣に追い込もう」と訴えました。

リレートークで斎藤裕弁護士は「憲法9条に背く戦争法案は廃案に。9月9日の県弁護士会の集会にも参加してほしい」、県女性9条の会の中川セツ子さんは「集会には行かずにいられないと参加した。戦争法案に絶対反対」と訴えました。

民医連職員の山内光裕さん(28)は「何をおいてもと思って初めて参加した。若い人にどんどん声をあげてほしい」と語りました。

## 会場いっぱいに仲間

**石川** 石川県の「戦争法反対、憲法改悪阻止」を呼びかける8団体は、金沢市犀川河川敷で県民大会を開催しました。雨の中1800人の参加で会場がいっぱいになりました。

ママの会@石川の村上けい子さんは「これまで寄せられた生の声を県内の議員に届けた。だれの子どもも殺させない」と述べました。

集会の後、「戦争NO!」「9条守れ!」と書いたパネルを掲げ、片町、香林坊を経由し武蔵ケ辻まで「戦争法案反対」「憲法9条守れ」とコールしながらパレード。

金沢市の丸山潮さん(33)は、「朝から雨が降っていたので、参加が少ないと思ったが会場いっぱいで心強い。雨に負けない強い気持ちを感じた。(法案を)止めたい」と語りました。

この行動には、日本共産党の佐藤正幸県議が参加しました。

## 法案理解しての反対

**大阪** 「戦争法案を廃案に! アベ政治を許さない! 8・30おおさか大集会」が、大阪市北区の扇町公園で開かれ、集会後、3コースに分かれて繁華街をパレードしました。

続々と府内各地から人が集まり、立すいの余地がないほどの2万5千人が参加。「戦争法案はいますぐ廃案」のコールに合わせていっせいに「戦争アカン!」のプラカードを突きあげました。

弁護士や宗教家、教育者などの呼びかけ人がスピーチ。創価学会有志の代表が「私たちは法案をよく理解したうえで反対の声をあげている。ともにがんばりましょう」とよびかけると参加者は共感の拍手で応えました。

母親と2人の息子と来た高田佳代さん(35)=吹田市=は「平和で声をあげられる社会を子どもたちに引き継いでもらえるよう、行動する姿を見せていきたい」と話しました。

日本共産党の清水忠史衆院議員、辰巳孝太郎参院議員が参加。辰巳氏と民主党、社民党の代表があいさつしました。

## どの子も殺させない

平和のために声を上げようと「安保関連法案に反対するママの会@大阪」が、大阪・なんば高島屋前で街頭宣伝を行いました。同日の全国100万人大行動に呼応したもので、発足後、初のとりくみです。

大粒の雨が降り出すなか、約20人がリレートーク。「だれの子どももころさせへん」とコールしました。フェイスブックの告知を見た人や買い物客など、のべ200人が耳を傾け、署名230人分が寄せられました。

メンバーの9割が社会運動未経験。発起人で7歳と6歳の娘をもつ宇城なつきさん(42)=堺市=も今年初めに憲法カフェに参加するまで「政治」の言葉も知らなかった」といい「学べば怖くない。家事や育児に追われ政治に関心が向きにくい主婦層に働きかけていきたい」と話しました。

## 「原爆の子」前に決意

**広島** 広島市では、中区の平和公園内の原爆の子の像前を出発するパレードがありました。青年でつくる「ヒロシマ・アクション・フォー・ピース&デモクラシー・ナウ」(略称=はぶどん)、子育て中の母親でつくる「安保法制に反対するママの会@広島」の2団体が呼びかけたもの。

348人が参加し、「だれの子どもも殺させない!」などとコールしながら行進。終結地点で「この法案を止めることが戦争への道を閉ざすこと。私たちは諦めません。ヒロシマから声を上げ続けます」とのアピールを採択しました。

呼びかけに共感して行動に初めて参加した松井愛(めぐみ)さん(28)=廿日市市=は、連れてきた2歳の一人娘を抱き締めて「この子たちの未来に不安を感じます。何か行動しなければ」と語りました。

## 誰も傷つかない国に

**徳島** 徳島弁護士会はJR徳島駅前でパレードを行いました。県内の弁護士と幅広い市民、団体の700人が参加しました。

参加者は「子どもたちに平和な未来を」「戦争なんていやだ」などのプラカードを持ち、「憲法違反に異議あり」「みんなの力で廃案に」とコールして、駅前商店街を行進。沿道の市民が声援を送り、手を振るなど注目を集めました。

弁護士会の上地大三郎会長は「安保法案を許せば、憲法9条は意味をなさない。阻止できるのは主権者である私たちの声だ。反対の声を広げよう」と訴えました。

夫、子どもたちと参加した海陽町の中野菜々さん(27)は「祖父母の体験を聞き、戦争はいやだと思った。どの子も戦地に行かせたくない。絶対に廃案にして、戦争で誰も傷つかない国にしたい」と語りました。

## いまの日常守りたい

**長崎** 長崎市では「戦争法案廃案! 安倍政権退陣! ながさき集会」(主催=「憲法改悪阻止共闘センター」「戦争への道を許さない! ながさき1000人委員会」)に800人が集まりました。「戦争したがる総理はいらない」など、市内中心部の「鉄橋」にあふれるほどの人波が、熱気みなぎるコールを響かせました。

リレートークでは、長崎原爆被災者協議会の山田拓民さん(84)が「ずいぶん年を取りましたが、一生懸命ともに頑張る」と発言。30歳未満の若い世代でつくる「N-DOVE」の関貴大さん(28)は、「自由と民主主義、いまの日常を守りたい」と力を込めました。

日本共産党の堀江ひとみ県議ら多数の地元議員も結集。母親としてリレートークでも訴えた中島愛さん(38)は、1歳児を抱きかかえながら「この子の未来を、戦争する時代にさせるわけにはいきません」と話していました。

## やめんかいアベさん

**熊本** 「やめんかいアベさん・戦争法」熊本県民大行動が、熊本市白川公園で行われました。同実行委員会主催で思想・信条、党派を超えた参加者約2000人が「戦争法案阻止」をコールし、繁華街をパレードしました。

宗教者、学者、法曹の各界代表者が連帯あいさつ。熊本大学の三澤純准教授は「熊大有志27人が法案反対に立ち上がった」と紹介。大行動を「自由民権運動」「大正デモクラシー」「1960年安保闘争」に匹敵することだと指摘して、団結を呼びかけました。

初めて集会に参加したという女性(62)は「子どもたちの平和な未来を奪いかねない法案は見過ごせないと思い参加を決意しました」。森山マリアさん(40)は「日本の指導者は自分の子や孫も戦争に加担させるつもりでしょうか。私には(子が戦争に行くなど)考えられない」と話しました。

## 反戦のエイサー響く

**沖縄** 那覇市内では、「戦争法案廃案! 辺野古新基地建設断念! 安倍政権退陣! 8・30沖縄大行動」(主催・止めよう戦争法案! 守ろう9条実行委員会)が開かれました。戦争法案の先取りとして政府が陸上自衛隊配備を狙う石垣、宮古島両市でも行われました。

約2500人の参加者は「戦争法案、イーヤーサーサー、ハーイーヤ(嫌さ、はー嫌)」と、沖縄の伝統芸能のエイサーの掛け声に合わせてコール。ヘリ基地反対協議会の仲本興真(こうしん)事務局次長は「政府は集中協議が終われば新基地建設作業を再開すると明言した。沖縄は戦争法案の最前線だ。美しい辺野古・大浦湾の海を守るため、沖縄の未来は私たちで決めよう」と力強く訴えました。

大行動には、日本共産党の赤嶺政賢衆院議員ら県選出野党国会議員が参加しました。

8/31
赤旗